

出雲市役所の代表電話番号

- 本 庁 TEL 21 - 2211
- 平田支所 TEL 63 - 3111
- 佐田支所 TEL 84 - 0111
- 多伎支所 TEL 86 - 3111
- 湖陵支所 TEL 43 - 1212
- 大社支所 TEL 53 - 4444

お知らせコーナー

お知らせ

ボランティアガイドによる
西谷墳墓群説明会

とき/9月17日・18日 10時~16時
 ところ/西谷墳墓群史跡公園
 『出雲弥生の森』(大津町)
 内容/出雲市文化財ボランティアガイドが案内します。
 おたずね/文化財課(893)

出雲市民写真生大会

とき/9月18日 9時30分~15時30分
 ところ/しまね花の郷
 対象/市内在住・在勤者
 参加料/無料
 申し込み/住所・氏名・学校名・学年・電話番号を電話またはファクスで連絡
 申込期限/9月13日
 おたずね/古志明るいまちづくり推進協議会(0925、助 1066)

出雲空港「空の日」イベント

とき/9月18日 10時~17時
 内容/管制塔・飛行場内、ヘリコプターや空港特殊車両の見学、展望デッキ無料開放など
 ところ・おたずね/出雲空港(20129)

世界アルツハイマーデー
記念講演会

とき/9月24日 13時30分~16時
 ところ/寿生病院(上塩治町)
 内容/京都府・わらじ医者よろず診療所・早川一光所長の講演「呆けない方法教えます」
 入場無料・申込不要
 おたずね/県立中央病院老人性痴呆疾患センター(500)

県立看護短期大学公開講座

とき/9月27日 9時30分~12時

見て見ぬふり

不良行為をしていると見られる少年に出会ったとき、「見て見ぬふり」をする人が50%以上にのぼる。そんな結果が、今年1月全国の成人3000人を対象に内閣府が行った「少年非行等に関する世論調査」のアンケート結果(回答率68.2%)からわかりました。詳しく見てみると、



不良行為をしている少年への対応については

- ・「注意をする」.....11.5%
 - ・「見て見ぬふり」...54.0%
 - ・「注意するほどの問題ではないので放っておく」...11.0%
- また、回答者の年齢別では、若い世代ほど「見て見ぬふりをする」人が多いという傾向が表れています。

その理由として、「注意した少年から暴力を振るわれるおそれがある」との回答が多く挙げられました。

しかし、子ども支援センターでは、定期的に市内のパトロールをして青少年に声をかけるようにしていますが、ほとんどの子どもはちゃんと応答してくれます。中には、むしろ大人から声をかけてくれるのを待っている子どももいます。駅の周辺や公園、大型店などで良くない行動をしている子どもを見かけたら「見て見ぬふり」をするのではなく、次のような点に気をつけて声をかけ、子どもに関心を示したいものです。

声かけの例

- かなり遅い時間の時 - 「あまり遅くならないようにね」、「お家の方に心配をかけないようにね」
- 喫煙している場に遭遇した時 - 「身体によくないよ」、「今、いくつ?タバコはいいかいね」など
- ・声の調子...明るく、ハキハキと、説教的でないこと
- ・態度...威圧的でなく、指示や命令調でないこと

ほうれんそう

標題の「ほうれんそう」は野菜の「ほうれん草」を言っているわけではありません。「報告・連絡・相談」の頭文字をとって、これらの大切さを伝える言葉です。心配事、悩み事などを一人で抱え込まず、何でも話し、相談することで、解決していくということを表しています。仕事の場などでよく使う言葉ですが、家庭でも同じことが言えるのではないのでしょうか。

朝起きてから寝るまでの間に、生活の中で「ほうれんそう」をすることが沢山あるはず。子どもが園や学校でうれしかったこと、また、悩んだり、困ったりしている時に、家族がタイミングよく話を聞いてくれ、喜怒哀楽をともにしていくのに、「ほうれんそう」が役立ちます。この機会がずれてしまったり、逃してしまったりすると、子どもにストレスがたまることになってしまいます。親から見て、ささいなことと思っても、子どもにとっては重要なこともたくさんあります。

親子が「ほうれんそう」の精神で接していると、悩みや心配事が起こったときに、抱え込まずに、話すことによって安心し、自分の生き方を学び、やがて子どもが社会に出てひとりで生きていくことができる基礎となると考えます。心の触れ合う「ほうれんそう」を進めたいものです。



21~30 秋の全国交通安全運動

県内の交通事故死者数は、今年に入って47人(8月24日現在)と、前年の同じ時期に比べて14人も多くなっています。

今年の交通事故の特徴として、高齢者の事故や中央線をはみ出している事故が多くなっています。そこで、次のことに注意して、事故を減らしましょう。

- 高齢者を見かけたときは、減速・徐行し、思いやりのある運転を
- 早目のライト点灯(目安は日没30分前)
- シートベルトとチャイルドシートを正しく着用しましょう
- 速度の出しすぎに注意。特にカーブの手前では十分減速し、センターラインをはみ出さないようにしましょう。
- おたずね/交通政策課(TEL 21-2211 内線7321)

“ルールとマナーで安全しまね”

佐田町消費者問題講演会

とき/10月2日 9時~12時
 ところ/出雲須佐温泉ゆかり館
 内容/島根県警安全まちづくり推進室松田修平さんによる高齢者をねらった消費者トラブルについての講演など
 おたずね/同事務局(佐田支

国土交通省による測量など

今後の市街地の測量に役立てるため、設置済みの官民境界標識の現地確認を行い、測量のための基準点を設置します。
 とき/9月初旬~来年3月末
 ところ/市内の人口集中地区(出雲市駅を中心に半径約4km)および平田支所を中心に南北約5km・東西約3kmの区域)
 おたずね/独立行政法人都市再生機構西日本支社(06・6969・9419)

所地域振興課内 240111